

見える復興・見える復興

■各所でパネル展を開催していきます

宮城県土木部は、東日本大震災の復旧・復興状況を伝えるため、また、水害から命を守るためのソフト対策を紹介するため、パネルの展示会を県庁や道の駅スペースを利用し開催しています。今後も各所で開催していく予定なので、ぜひ足をお運びください！



▲県庁一階ロビー



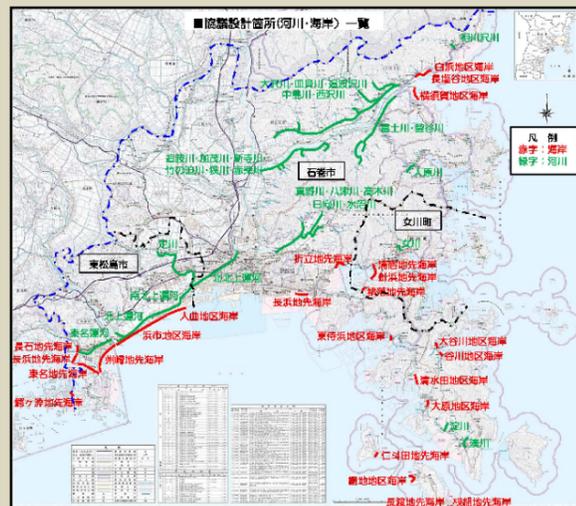
▲あ・ら・伊達な道の駅

○パネル展開催スケジュール○

期間	場所	内容
5月 1日～17日	県庁2階ロビー (仙台市)	・津波防災パネル展
6月22日～29日	道の駅三本木やまなみ (大崎市)	・復旧・復興パネル展
7月 2日～31日	あ・ら・伊達な道の駅 (大崎市)	・復旧・復興パネル展
7月 2日～ 6日	県庁1階ロビー (仙台市)	・水害から命を守るプログラム ・追川の治水対策 等
7月30日～常設	県庁8階パネル展示室(会議室) (仙台市)	・復旧・復興・防災パネル展
8月 2日～ 9日	栗原市役所1階ロビー	・水害から命を守るプログラム ・追川の治水対策 等
8月 8日～常設	むすび丸春日パークングエリア (利府町)	・復旧・復興・防災パネル展
8月17日～23日	イオンスーパーセンター佐沼店 (登米市)	・水害から命を守るプログラム ・追川の治水対策 等

■7月6日：東部土木事務所管内の河川・海岸・道路において災害復旧事業箇所を公開！

※東部土木管内は、東松島市、石巻市、女川町の3市町となっています。



▲河川・海岸施設

(大きい図面についてはHPをご覧ください <http://www.pref.miyagi.jp/et-dbk/pdf/f-dayori-1st.pdf>)



▲道路

■等身大の「復旧・復興」

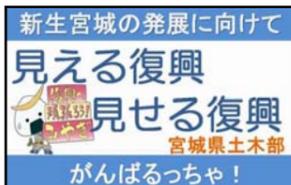
早期の本復旧と復興が望まれる県内の河川・海岸施設の事業について、地域住民の皆様に向けて説明会を開催するとともに、その進捗状況と計画を示した掲示板を設置しました。さらに、施工予定地には堤防の丁張を設置し、地域住民の皆様へ完成後の高さ等をイメージしていただく取り組みを行っています。



▲定川の復旧事業についての掲示板



▲定川堤防の丁張
※丁張とは、構造物を建設する際に用いる目安の定規のことで



○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

H P : <http://www.pref.miyagi.jp/dobokusom/>

T E L : 022-211-3108 E-mail : dobokgk1@pref.miyagi.jp

(H24.8.8 作成)

宮城県土木部復興だより【第3号】

復旧・復興の最新ニュースをお届けします！
＜平成24年7月中旬～8月8日現在＞

全体・防災

■7月19日：宮城県建設工事表彰式および事故防止対策推進大会を開催！

宮城県発注に係る建設工事のうち、126件の優良な工事を施工した、80の業者を表彰しました。また、事故防止優良者として、74名の現場代理人の方々を表彰しました。今回の表彰は、建設技術の向上に寄与するとともに、復興元年として本格化する復旧・復興工事の安全性確保につながります。

(詳しくはHPをご覧ください。)

<http://www.pref.miyagi.jp/jigyokanri/anzentaisaku/taikai24-yokoku.html>



▲建設工事表彰式

■7月30日～8月1日：「ハイスクールサミット in 東北」が宮城県で開催！

被災地と全国の高校生が一堂に会し、被災地現場見学やワークショップを通じて「大震災の伝承と備え」などのテーマについて議論し、伝承の方法やメモリアルホールなどについて企画・提案しました。

(詳しくはHPをご覧ください。)

<http://highschool-summit.happyroad.net/3.html>



▲村井知事も参加した
フロアディスカッション

都市計画・まちづくり・住宅

■7月18日：「宮城県災害公営住宅整備指針<ガイドライン>」策定！

災害公営住宅は、平成27年度までに約15,000戸の整備予定であり、現在1,777戸まで整備が進んでいます。本ガイドラインの策定を受けて、さらなる整備推進を目指します。

(詳しくはHPをご覧ください。 <http://www.pref.miyagi.jp/fukujuu/>)

■7月19日：「女川町復興まちづくり基本協定調印式」開催！

復興まちづくり事業を協働して推進するための基本協定を、女川町とUR都市再生機構が、きぼうのかね商店街に締結しました。復興まちづくり事業において、マンパワーやノウハウを補完し、早期に事業を進めるため、設計・施工を一括発注するCM方式を検討しております。



▲きぼうのかね商店街にて

■7月20日：「石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業認可交付式」開催！

宮城県内の被災市街地復興土地区画整理事業のうち、石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業は、県内初の事業認可となります。今年度中には、造成工事に着手し、順次道路等の公共施設の整備工事を実施していきます。

○事業概要 事業面積 約46.5ヘクタール、事業費98億円、

施行期間 平成24年度～平成32年度、計画戸数1460戸



▲認可交付式

■8月5日：「岩沼市玉浦西地区防災集団移転促進事業着工式」開催！

岩沼市玉浦西地区において防災集団移転促進事業が着手されました。

○工事名 平成24年度 東日本大震災復興交付金事業

岩沼市防災集団移転促進事業玉浦西地区造成工事

○工事概要 造成面積約19.6ヘクタール、計画戸数377戸

工期 平成24年7月28日～平成25年7月31日

グラベルマット工(砕石敷設厚80cm)、プレロード盛土工等を施工します。

お盆明けから本格的に造成工事を開始する予定です。



▲鍬入れの様子

道路

■仙台松島道路の4車線化工事が進んでいます

○7月12日：「仙台松島道路4車線化工事」供用開始！

仙台松島道路（宮城県道路公社管理）において実施中の4車線化工事が進み、このたび利府中 I.C と松島海岸 I.C の間の一部区間が供用開始となりました。今回の供用は、復興道路として初めて供用されるものであり、道路利用者の利便性の向上とともに、今後、被災地の早期復興において大きな弾みとなるものです。



▲4車線化前



▲4車線化後

○8月8日：4車線化供用開始区間に春日パーキングエリアがオープン！

春日パーキングエリア（愛称：むすび丸春日パーキングエリア）は、トイレや休憩所その他、コンビニエンスストアや軽食レストラン等が設置されており、県内の常磐自動車道から三陸縦貫自動車道において、初めてとなる本格的なパーキングです。

なお、春日 PA 施設の一部に復旧・復興パネルを設置し、復旧・復興の進捗状況を随時更新して発信していきます。



▲春日 PA（下り側）

○施設概要

施設名	店舗名	箇所
コンビニ	ミニストップ	上下線
フードコート	四六時中	上下線
屋外休憩所	地場産品販売	下り線
文化財展示室	—	下り線

■7月30日：「花洲山トンネル貫通式」開催！

国土交通省の権限代行事業として進んでいた国道108号花洲山バイパス事業において、花洲山4号トンネル（全長1,385m）の掘削工事が完了し、貫通式が行なわれました。花洲山周辺地域は、災害により道路が通行止めになることが多く、地元住民の皆様にとっては、命の道として期待されるため早期の開通が望まれます。



▲貫通式の様子



▲花洲山4号トンネル内

河川・海岸

■7月18日～19日：定川災害復旧事業概要説明会を開催！

説明会に参加した地域住民の皆様（二日間で合計122人）からは、堤防の高さに関する質問や、農地・用地に関する質問がありました。また、地元県議会議員、東部地方振興事務所農業農村整備部、東松島市などの関係者にも参加して頂き活発な意見交換の場となりました。



▲説明会の様子

（詳しくはHPをご覧ください）
<http://www.pref.miyagi.jp/et-dbk/pdf/f-dayori-2nd.pdf>

■7月11日～29日：気仙沼市の海岸防潮堤等の整備に関する市民説明会及び意見交換会を開催！

海岸防潮堤等の高さ設定の考え方や整備方針について、各海岸管理者が合同で説明会を開催しました。説明会は気仙沼市の沿岸部を12の区間に分けて実施され、その際に配布した資料等は公開しております。

（詳しくはHPをご覧ください）
<http://www.pref.miyagi.jp/ks-doboku/saigaisetumeikai/kaiganboutyoutei.htm>

■予定：8月31日に「戸倉海岸着工式」を開催します！

宮城県



空港

■7月12日：仙台空港内の新管制塔運用開始！

震災時、仙台空港の管制塔は1階のレーダー室が津波で水没し、管制室の通信機器も使えませんでした。一ヶ月後には業務が再開し非常用設備のまま空港管制を行ってまいりました。新管制塔は、耐震強度が従来の1.5倍で航空管制機能も高め、災害に強い空港施設の一部となりました。7月31日には、1,200メートルのA滑走路の運用が再開されるなど、仙台空港事務所の施設は、ほぼ復旧しました。



▲完成した仙台空港内の新管制塔



▲被災直後の管制塔一階 レーダー室

（以上、国土交通省 東京航空局 仙台空港事務所様から情報提供です。ご提供ありがとうございました。）

■7月28日～29日：「ソラヘサツとりんくう 復興 フェスタ」開催！

本県の復旧状況、仙台空港就航地先の観光情報等をPRし、仙台空港及びアクセス鉄道の利用促進と本県の復興を後押しすることを目的に、復興支援イベントを開催しました。合計1万7千人以上の来場者を記録し、各会場は熱気に包まれました。



▲仙台空港の会場にて

■7月30日：「中国南方航空による仙台～長春線」再開！

仙台～長春線の再開により、仙台空港の国際定期便の路線は、震災前と同じ6路線・7都市につながり全線復活となりました。同日行われた「中国南方航空 仙台便再開記念式典」では、テープカットなどが行われました。また、仙台～長春線到着歓迎行事として、2012せんだい・杜の都親善大使、伊達武将隊、むすび丸らが再開第1号便の到着を出迎えました。



▲記念式典でのテープカット

■その他：平成24年4月～6月の空港利用者・鉄道利用者の状況

- 空港利用者 国内線 606,813人(平成22年度同月比96%)
- 空港利用者 国際線 42,334人(平成22年度同月比72%)
- 仙台空港アクセス鉄道利用者 624,743人(平成22年度同月比103%)

港湾

■7月13日：松島港・女川港及び荻浜港の復旧方法・復旧予定を公開！



（詳しくはHPをご覧ください）
<http://www.pref.miyagi.jp/kouwan/kikaku/restoration%20plan%20of%20ports/restoration%20plan%20of%20ports.html>